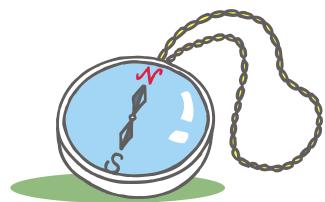


# 羅針盤



第 11 号 令和3年(2021年)6月21日(月)

## ◆ 見えないところで価値は決まる

今年の梅雨入りは各地ともに例年よりも随分と早く、大雨による土砂災害や河川の決壊による被害も危ぶまれており、近年は1時間に100ミリ以上もの短時間での集中的な豪雨が降ることも稀なことではなく、地球温暖化による影響が危惧されていることも専門家からは数多く報告されています。「天変地異」ともとれる甚大なる被害が毎年のように各地に及び、決して自然を侮ってはいけないことをその度に思い知らされます。自然のもつ「美しさと厳しさ」を各々（おのの）が肝に銘じておく必要があることを感じずにはいられません。日本全国で、約3年ぶりの皆既月食が見られたのは先月末の5月26日の出来事でした。満月が今年一番地球に接近する、いわゆるスーパームーンでの皆既月食が日本で見られた、1997年9月以来の約24年ぶりとなった天体ショーに、胸踊られた人もたくさんいたのではないでしょうか。スーパームーンと月食のタイミング重なることは比較的珍しいことで、次回は12年後となる2033年10月8日まで起こらないそうです。また、「美しい地球を見て心が癒された」と言われたのは、宇宙飛行士である若田光一さんです。夏の夜空に思いを馳せながら、自然の偉大さとその美を生徒の皆さんにも感じてもらえればと思います。今年の夏も、厳しい暑さが続く日が訪れるようです。そのような暑い日が続いても、大地に根を張っている樹木は、枯れそうで、あえいでいるように見えますが、「びく」ともするようなことはありません。私たち人間も、どんな試練にも耐えられるように、大地にしっかりと足を踏みしめて、足場を固めることが何よりも大切なことです。それが基礎・基本の力です。日頃の授業を何よりも大切にし、予習はもちろんの事ながら、復習を繰り返し行い、疑問点を一つずつ克服していくことが大事なことです。やがて克服した「点」は、「線」となって、しっかりと根を張っていくこととなります。「見えないところで価値は決まる」という言葉を残した武者小路実篤。彼の言うように、根っこは見えませんが、しっかりと根を張るだけの力を蓄えることができたかどうかで、大きく価値が変わっていくことは、言うまでもないことです。根を張る努力を忘れないことを期待しています。



## ◆ 素数を発見したセミ

今月末までにアメリカ東部では、最大で数兆匹にもおよぶセミが大量発生するというニュースを皆さんは知っているでしょうか。このセミは17年ごとに大量発生する「17年ゼミ」で、「素数ゼミ」または「周期ゼミ」とも呼ばれ、他には「13年ゼミ」も同じように呼ばれます。なぜ13年ごとや17年ごとに大量発生するのか、それは自然界で、自分たちの種を残すために深化を遂げてきた結果で、そのために数学を利用した昆虫が「17年ゼミ」や「13年ゼミ」です。セミの天敵は鳥ですが、鳥は3年や4年の周期で大量発生します。その天敵に食い尽くされるのを防ぐために、できる限り天敵とは出会わないために、一番合理的な周期となる「素数」をセミは選んだのです。「素数ゼミ」に興味を持った人は、一度自分でも詳しく調べてみてください。

